

令和5年度 大館市立城南小学校 学校評価書 (前期・年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び、どの子どもも喜んで活動する学校

B 目指す学校像

- 1 児童一人一人が自分の幸せを支える力を高める学校
- 2 保護者が安心して我が子を送り出せる学校
- 3 職員がチームで改善に取り組める学校
- 4 地域に笑顔で協力してもらえる学校

C 学校経営の特徴

- 1 主体的に学び合い、皆が力を確かに高める授業づくり
- 2 一人一人に寄り添い、組織的に個々を伸ばす指導の工夫
- 3 楽しくやりがいのある活動の工夫



春の大運動会

おうちの方々からのたくさんの応援を受けて、全力で頑張る姿が随所で見られました。また、6年生の遊戯技「借り物・借り人競争」では、お題にあった人を探し、手をつないでゴールする姿にたくさんの拍手がおくられていました。



前期児童総会

各委員会からの報告と質疑応答がなされました。今年度の児童会活動が充実するように、たくさんの意見が出されました。また、後半は「ぼく、わたしたちのマイルール～メディアコントロールのためにできること～」を議題に活発な話し合いができました。

D 評価

| | | | | | |
|----------------|---------------|---|----------------|---|-----------------------------------|
| ア 児童の 状況 | 自己評価Aと外部評価の区分 | きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する | 自己評価Bの 評価基準 | 5 | 実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成 |
| | | | | 4 | 実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成 |
| | | | | 3 | 実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成 |
| | | | | 2 | 実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成 |
| | | | | 1 | 実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成 |

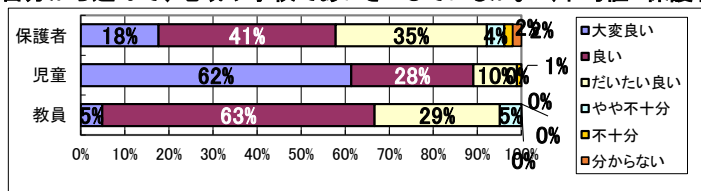
I 自主的・自律的な生活

| 児童の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|---|--|---------|---|
| 明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら、主体性や責任感をはぐもうとしている。 | 前期 おおむね 良好 | 良好 | あいさつ運動やあいさつマスターなどの継続した取組によって元気にあいさつする児童が増えていることを感じる。メディアに関わるルールを児童会が作り、それを子どもたちが守って生活していることが伺える。子どもたちがよりよい生活を送っていけるよう更なる指導の充実をお願いしたい。 |
| 学自校己の改善の概要と | 【前期(一年度)】(1)について→振り返りカードでの意識付け、あいさつ運動やあいさつマスターの取組を通して、進んであいさつをする児童が増えた。しかし、校外でのあいさつや一人でも自分からあいさつができるかというところで消極的な姿が見られる。今後は、城南っ子基本3行動の1つ「だれにでも気持ちよいあいさつと返事をします」を合い言葉に、児童会や学級での話し合いなどで、さらにあいさつの輪が広がっていく取組を考えていきたい。(2)(3)について→学年目標を意識しながら、様々な活動に取り組むことができた。委員会活動のお知らせや呼びかけは、集会や給食時間の放送、ポスターなどを使って工夫している。また、児童会で、メディアに関わる「ぼく・わたしたちのマイルール」をつくった。ルール遵守の指導とともに、児童が主体的に決めたルールを基に、子どもたち自身が自分たちの行動を見つめていくことができる活動の充実を図りたい。 | | |
| | 【年度(一学年度)】 | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|-------------|---------------------------------|--|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 1 基本的な生活習慣 | (1)校内外での元気な挨拶 (2)規律ある落ち着いた生活 | 挨拶運動(児童、保護者、職員)、「めざせ！城南あいさつマスター」の実施、学級活動や集会など学校生活全般を通じた指導 社会規範やルール遵守の指導(城南っ子生活の約束、生徒指導通信) | 3 | |
| 2 集団生活・集団活動 | (3)集団の一員としての自覚ある言動 | 学級活動の充実、当番活動、係活動、各種行事、委員会活動の推進、学年集会の実施、ふれあい集会、城南オリンピック | 3 | |

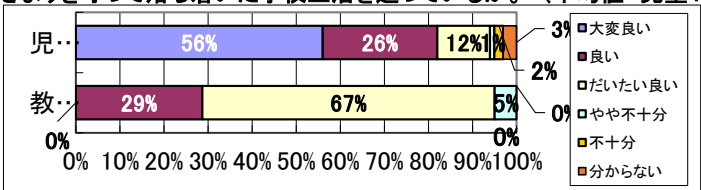
【1に関するデータ】

○自分から進んで、地域や学校であいさつしているか。(平均値 保護者3.63 児童4.50 教員3.67)



- ◇保護者の挨拶運動・登校指導
5月～10月(PTA)
- ◇あいさつマスターの奨励
4月、7・8月、11月(自己評価→あいさつマスターシール)
- ◇教員の挨拶運動
4月～2月(学校安全日) 3月(学校職員)
- ◇委員会の挨拶運動(通年)
11月(各委員会) 7・8月(小中連携挨拶運動)

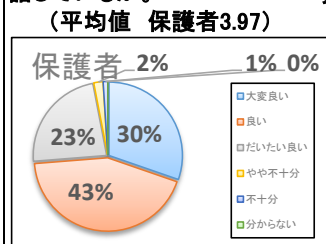
○きまりを守って落ち着いた学校生活を送っているか。(平均値 児童4.27 教員3.24)



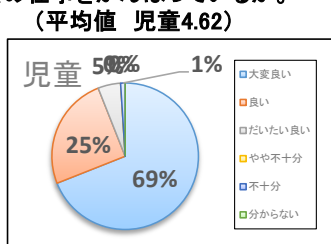
- ◇ぼく・わたしたちのマイルール(児童会)
- *メディアに関わるルール
- ◇「城南っ子生活の約束」の配付
- ◇学年集会の開催・屋の放送での呼びかけ
- ◇生徒指導通信「城南っ子」の配付
- ◇委員会による呼びかけ

【2に関するデータ】

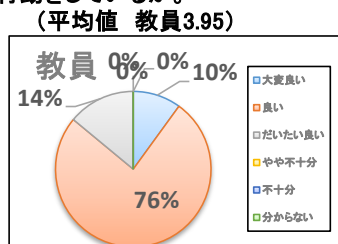
○子どもは、学校が楽しいと話しているか。(平均値 保護者3.97)



○学級のための、係や当番、委員会の仕事をがんばっているか。(平均値 児童4.62)



○集団の一員としての自覚ある行動をしているか。(平均値 教員3.95)



◇学年目標発表集会の開催
各学年とも趣向を凝らしながら、全員が心を合わせて発表することで、意識付けが図られた。

(学年目標の例)
4年「パワー全開 優しさ満開」
5年「和～はあと(話をしっかり最後まで聞く あいさつと返事 友達への優しさ)～」
6年「声出せ 歩み出せ スマイル 一笑懸命 315のリーダー」

ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心

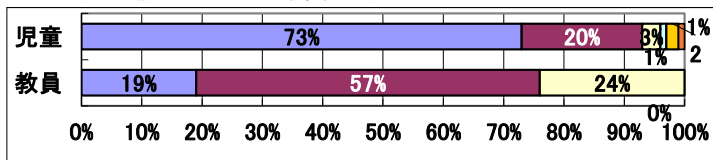
| 児童生徒の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|---|--|---------|--|
| 自分のよさや他人のよさを認め合い、切磋琢磨した学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。 | 前期 おおむね 良好 年度 | 良好 | 授業中、クラスメイトが発表した後で「いいです」「なるほど」など共感する声がある。コロナ等で交流が難しいこともあると思うが、全校での交流によって「思いやりの心」等が育まれることを期待している。各学年一人一人の「キラッとさん」が廊下に掲示されていて、自己有用感の育成につながっている。 |
| 校 自 己 改 善 策 の 概 要 と 学 | <p>【前期(→年度)】(4)(5)について→自己有用感の育成と生活指導部の目標「みんなで気持ちよく生活する力」を高めるために、学級や他学年との仲間意識を深めるための集会や縦割り活動が、高学年を中心に企画・実践されており、児童同士の絆を深めている。また、昨年度より「キラッとさんロード」を継続し、児童同士で認め合う場をつくり、お互いに目に見える掲示をしている。生徒指導通信を活用し、保護者にも紹介している。道徳指導については、子どもたちの実生活に結びつく学びになるように、今後も授業の充実を図ってきたい。(6)について→日常観察の他にいじめアンケートを実施し、一人一人と教育相談を行っている。対策委員会による情報交換やアンケート結果を分析し、気になる児童をピックアップして、児童の困り感に寄り添いながら、対応・解決することができた。ホウレンソウ(報・連・相)カードを活用しながら、職員間の情報共有を密にし、チームで対応できるように継続して指導にあたりたい。</p> <p>【年度(→次年度)】</p> | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|---------|-----------------------------------|---|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 3 自他の理解 | (4)自己有用感の育成 (5)道徳性、道徳的な判断力等の育成 | 人間関係づくり(学級活動など)、縦割り班活動、集会活動、なかよしアップタイム、一人一人のよさを認め合う場の設定(キラッとさんロードの設置) 道徳科の授業の充実、各教科等との関連的指導の充実 | 4 | |
| 4 児童理解 | (6)学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応 | 職員会議での情報交換、教育相談、校内特別支援委員会、アンケートや調査の実施と事後指導への活用、「ホウレンソウカード」による校内生徒指導体制の強化、チームによる即時対応 | 3 | |

[3に関するデータ]

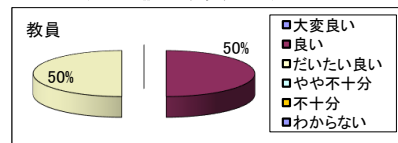
○友達と仲良く生活しているか。

(平均値 児童4.59 教員3.95)

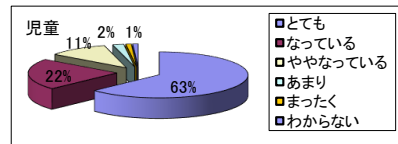


○道徳の時間の充実

(平均値 教員3.50)



○道徳の授業は自分にプラスになっているか。(児童4.41)



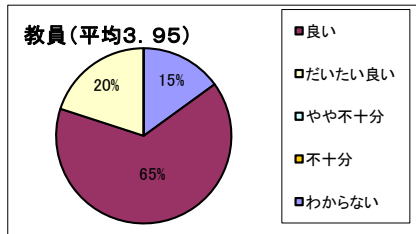
◇キラッとさん(帰りの会での発表紹介、学校・お家キラッとさんの活動) →キラッとさんロードへの掲示

◇なかよしアップタイム(縦割り班による活動)の実施(学期に1回)

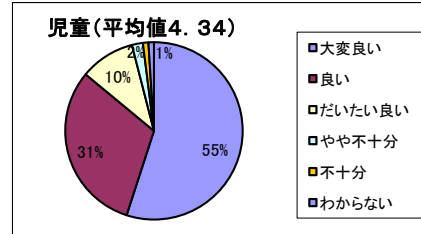
◇ふれあい集会、1年生と仲良くなる縦割り班集会など各種集会や縦割り班掃除・全校おにごっこでの交流や関わり

[4に関するデータ]

○学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応



○あなたは友だちの良いところや頑張ったことを見つけあげているか。



◇教育相談…5月18日

◇いじめ調査アンケート

教育相談…6月22日

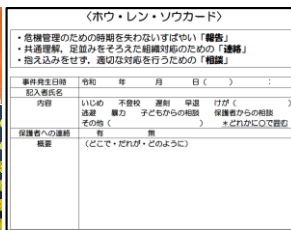
◇職員会議での情報交換

◇特別支援教育委員会の開催

◇いじめ・不登校対策委員会の開催と機を逃さない対応



各学年廊下前のキラッとさんロード



ホウレンソウ(報・連・相)カードの活用状況把握・共通理解に努める



1年生と5年生のお楽しみ集会(5年生企画)

ア 児童の状況

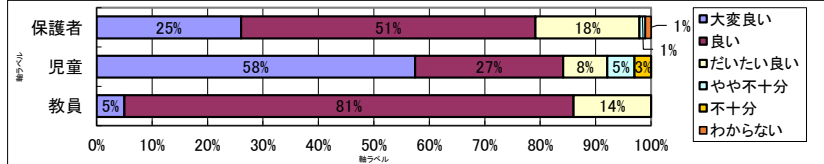
Ⅲ 健康と体力

| 児童生徒の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|--|---|---------|--|
| 食や運動を通して、健康や体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。 | 前期 | おおむね良好 | これまでの学校評価の意見を踏まえ、広く「健康」を意識した取組を実施して運動の機会を積極的に設けている。全校児童が楽しめる「全校鬼ごっこ」や「バランスペロリン週間」など今後も継続して取り組み、成果に期待したい。 |
| | 年度 | | |
| 校自己改善策の概要と学 | 【前期(一年度)】今年度は運動する機会の保障だけでなく、「健康」に関わる広い分野(運動、食育、保健衛生等)を踏まえた「体力の向上」をねらいとしている。前期の運動に関わることで、城南スポーツタイムで投力と握力の向上を狙い、「投げる」運動を取り入れた。また、全校児童に運動の機会を与えるために「全校鬼ごっこ」を実施した。後期も安全面に配慮しながら、継続して全校児童が運動の習慣を身に付けられるように取り組んでいきたい。食育に関わることで、「バランスペロリン週間」を行い、少しでも好き嫌いせずに栄養のバランスを考えながら食べるように指導した。後期も再び「バランスペロリン週間」を実施し、前期からどれくらい食べられるようになったのか実感させ、自信を付けさせていきたい。また栄養職員による栄養授業も実施しようと考えている。保健衛生に関わることで、高学年を中心に集会を開き、掃除の仕方や低学年への教え方を指導し、清掃力の向上を図った。後期は、班の数を減らし、掃除箇所の見直しを検討し、清掃箇所による掃除の負担の差を解消したい。 | | |
| | 【年度(→次年度)】 | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|-----------|-----------------|---|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 5 保健衛生・食育 | (7)健康的な生活習慣の向上 | メディアコントロール週間、清潔力アップday、保健だよりの工夫、委員会活動、家庭との連携、ガラガラあわわタイム、養護教諭の保健指導 | 3 | |
| | (8)望ましい食習慣の形成 | 食育および給食指導、委員会活動、バランスペロリン週間、栄養バランスチェック、給食試食会、わんだふる給食PR | | |
| 6 体力づくり | (9)継続的な体力づくりの実践 | パワーアップ運動と教科体育の充実、城南スポーツタイム①～③、外遊びイベント | 4 | |

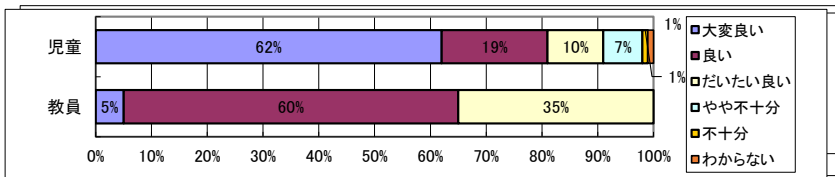
【5に関するデータ】

○早ね・早おきをし、朝ごはんをたべているか。(平均値 保護者3.95 児童4.31 教員3.90)



全校児童で楽しく運動できた全校鬼ごっこ。

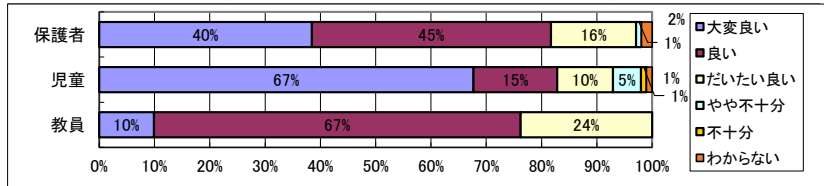
○給食では好き嫌いをしないで食べているか。(平均値 児童4.29 教員3.70)



5年生によるプール清掃。ピカピカのプールに

【6に関するデータ】

○自ら進んで体を動かし、よく運動をしているか。(平均値 保護者4.19 児童4.37 教員3.86)



給食のゴミの捨て方やバランスペロリン週間を呼びかける給食委員会の発表。

| ☆全校鬼ごっこ | ☆城南スポーツタイム |
|---|---|
| 5月 毎週水曜日 6月～毎週金曜日 2学期は9月、10月、12月に実施予定 | バスケットボール投げ シャトル投げ 2学期はバスケットシュートを実施予定 |
| ○全校児童の運動時間の確保ができた。 ○学年関係なく仲良く楽しく運動できた。 ○安全面を考慮しながらグラウンドの範囲を決めて実施していきたい。 | ○投げる運動を通して、全身を使って運動する機会となった。 ○安全面を考えながら、児童主体で体力の向上につながりつつ楽しく運動できる内容を考えていきたい。 |

ア 児童の状況

IV 基礎学力

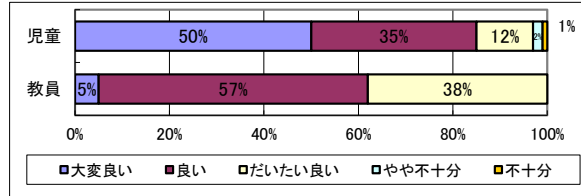
| 児童生徒の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|---|--|---------|---|
| 主体的に授業に臨み、基本的学習習慣や学び方を身に付けながら、学力を向上させようとしている。 | 前期 | おおむね良好 | 授業の様子や教職員ヒアリングから、城南小として統一した学習スタンダードに従って、全クラス・教科で特色ある学習指導を行うことができている。子どもたちが、お互いの意見を尊重し、共感し合う姿勢は十分にできているので、今後は反論したり議論し合ったりする力、自分の意見を進化させて発信できる力を向上させてもらいたい。 |
| | 年度 | | |
| と自己校評の価改の善概要 | <p>【前期(→年度)】基本的学習習慣の定着のため、全校で共通した指導ができるよう、4月に「学習スタンダード」をもとにオリエンテーションを行った。重点月の6月には、一点突破である「聴いて反応する力」を鍛えるために自分の聴き方を見直すための「聴き方アップトレーニング」を行った。また、子ども同士の授業参観を通して、他学年の聴き方や反応を参考にできるようにしている。国語科と関連させながら朝の会やJタイムにスピーチタイムを設定し、テーマや課題について職員間で情報交換しながら話す・聴く力の向上に努めている。今後は、それぞれの活動のねらいをレベルアップさせながら継続することで、「聴いて反応する力」を身に付けさせ、学び合いを深められるようにしていきたい。</p> <p>【年度(→次年度)】</p> | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|----------|-----------------|---|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 7 学習への取組 | (10)基本的学習習慣の定着 | 学習のきまりの指導、家庭学習の奨励(全校ノート展の実施) | 3 | |
| | (11)基礎・基本の確かな定着 | ねらいと評価、振り返りを大切にした分かる授業づくり、全校一斉テストの実施 | | |
| | (12)言語活動の充実 | 授業における学び合い、シンカタイムの充実、ICTスキルの向上と活用、スピーチタイムと反応言葉の活用、振り返りの充実 | | |
| | (13)読書活動の充実 | 読書・読み聞かせの推進、図書館経営、情報活用の充実 | | |

[7]に関するデータ

○学習のきまりを守って学習しているか。

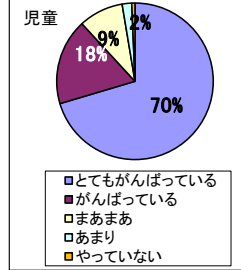
(平均値 児童4.29 教員3.67)



○家庭学習をがんばっているか。

(平均値 児童4.52)

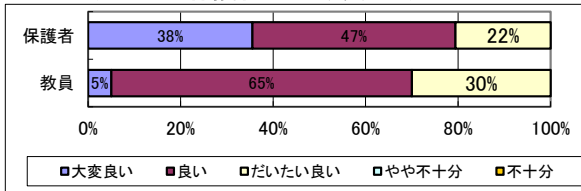
(平均値 保護者3.94)



- ◇学習のきまりの徹底
 - ・「学習スタンダードJ」の共通理解と指導
- ◇家庭学習ノート紹介
 - ・PTAに合わせてノート展開催

○基礎・基本の確かな定着が見られるか。

(平均値 保護者4.15 教員3.75)



○言語活動の充実を図っているか。

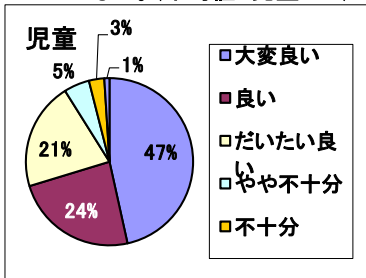
(平均値 教員3.95)

- ・主に国語科を中心にした学び合い
- ・学習内容や発達段階に応じた学習の工夫
- ・スピーチタイムの実施やシンカタイムの話合い

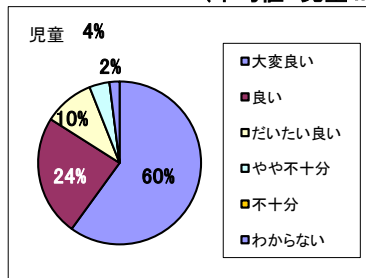
○読書習慣の定着

(平均値 児童4.41 教員4.24)

○授業で、進んで発表や反応をしているか。(平均値 児童4.06)



○個に応じた学習で勉強が分かるようになったか。(平均値 児童4.34)



個に応じた学習の取組の例

- ・3～6年に算数の2C3Tまたは1C2Tを実施
- ・放課後や長期休業中の個別指導
- ・ICTの活用

進んで自分の考えを伝えようとする姿

イ
学校運営
の状況

| | | | | |
|-----------------|--------|------------|---|--------------------------------|
| 自己評価Aと外部評価の評価区分 | きわめて良好 | 自己評価Bの評価基準 | 5 | 目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著 |
| | 良好 | | 4 | 目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる |
| | おおむね良好 | | 3 | 目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる |
| | やや不十分 | | 2 | 目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない |
| | 努力を要する | | 1 | 目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い |

V 組織運営

| 学校の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント |
|---|---|---------|--|
| 重点目標の具現化に向けて、教職員がチーム城南として連携し、組織的・主体的に取り組んでいる。 | 前期 良好 | 良好 | 校長や教頭のリーダーシップの下、重点目標の具現化に向け、全職員で取り組んでいる様子を授業からもうかがえた。若手教員も多いが風通しのよい職員室の中での関係性や日常のOJTにより育っていることを感じる。反応力と共感力は授業で意識されている。後期はさらに踏み込んで、自分の考えをしっかりとって自分の言葉で発信するかも身に付けてほしい。 |
| と自己評価の改善の善策概要 | <p>【前期(→年度)】経営方針を全職員で共通理解し実践している。各指導部が中心となって新しい取組を提案するなど、先生方も常に前向きである。今後は、子どもが城南っ子基本3行動について考え、自分たちでよりよい学校をつくっていくように導きたい。ふるさとキャリア教育についてはテーマは同じでもアプローチを変えるなど、工夫が見られる。今年度は学びの発信に重点を置いているため、客観的に評価していただく場面を設け、活動の改善につなげたい。ICT事業は最終年度であるため、10月の公開授業に向けてより効果的な活用の提示ができるように実践中である。</p> <p>【年度(→次年度)】</p> | | |

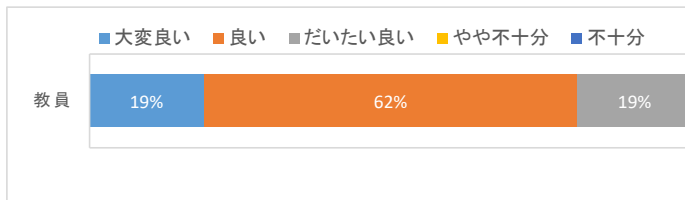
| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|--------------|--|--|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 8 学校の明確な経営方針 | (14)経営方針や重点目標、施策の明示 (15)城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践 | 職員会議、PTA総会等での周知、校報での明示 指導部による具体的な施策の提案、学年部による継続した実践 | 4 | |
| 9 教育課程の編成と実施 | (16)特色ある教育課程の編成と実施 | ふるさと・未来をつくる力を意識したふるさとキャリア教育の推進 | 3 | |
| 10 職員研修 | (17)授業改善と指導力の向上(2つのICTで) | ICTを取り入れた授業研究、校内研・諸研修への参加、学年部での教材研究 | 4 | |

[9に関するデータ]

○経営方針や重点目標、施策の明示(平均値 教員4.24)

教員 大変良い(24%) 良い(76%) だいたい良い(0%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践をしているか。(平均値 教員4.00)

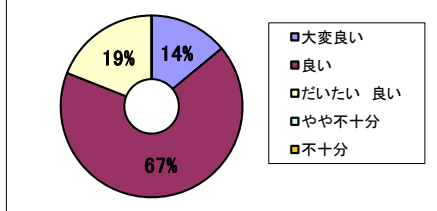


城南っ子基本3行動

- いつでもよく聴き、相手の話に反応します。
- どこでも安全に気を付け、命を守ります。
- だれにでも気持ちのよいあいさつと返事をします。

[10に関するデータ]

○ふるさとキャリア教育の推進(平均値 教員3.95)



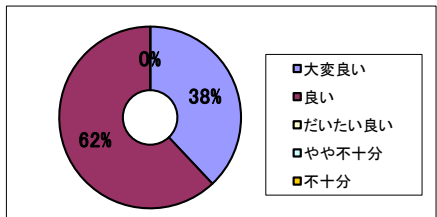
○今年度の活動例

- ・3年 わがまち大館調査隊:大館市の自然、行事や伝統等の調査
- ・4年 やさしい大館づくり隊:エコタウン大館やバリアフリー施設等の調査、講話や体験
- ・5年 プロジェクトJV:大館の「食」に関わる方々からの講話や職場体験
- ・6年 プロジェクトJファイナル:ハチ公生誕100年を記念して、ハチ公をテーマとしたふるさとCMを発信



[11に関するデータ]

○授業改善と指導力の向上に向けた研修(平均値 教員4.38)



○授業研究会の実施(予定含む)

- 6月:社会科研究授業(5年)
- 9月:算数科指定訪問(2年)
- 10月:ICT公開授業(1~6年)
- 11月:特別教育支援員配置校研修(1年)

6年 ICTを活用した道徳科授業
7月:道徳科指定訪問(6年)

イ 学校運営の状況

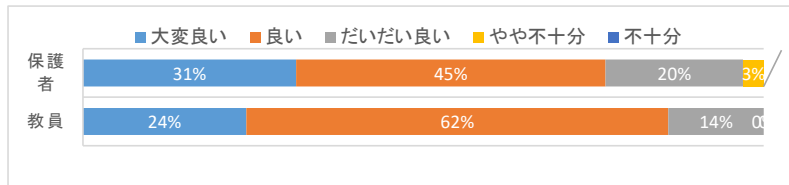
VI 保護者・地域との連携

| 学校の状況 | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員のコメント | |
|---|--|---------|----------------|--|
| 学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。 | 前期 | 良好 | 良好 | 読み聞かせやキャリア教育などで、父兄や地域住民、企業との連携が大変充実していると思われる。つながりをさらに深めるためにもさらなる地域への情報発信(子どもたちの活動など...)を進めていただきたいと思う。情報の発信では、町内の回覧板に「わが城南」が配布され、校内での子どもたちの生活を知ることができているので、継続して、情報の提供を望む。 |
| | 年度 | | | |
| 学 校 自 己 の 評 価 改 善 の 策 要 と | 【前期(→年度)】学年だよりや学校だよりのほか、学校ホームページやブログでも子どもたちの学校での様子を紹介している。毎回の発行を楽しみにしていただいているが、印刷すると写真が不明瞭になるので、カラー版のホームページでの閲覧を勧めている。地域の教育力については、様々な学習場面(正課クラブや朝の読み聞かせ、生活科や総合的な学習の時間、学校行事、登下校の見守り等)で保護者や地域の方々に積極的に協力を求め、学校だけではできない活動を安全で充実したものにする事ができた。 | | | |

| 評価指標 | 実践課題 | 主な取組 | 自己評価B | |
|--------------|---|---|-------|----|
| | | | 前期 | 年度 |
| 11 情報の受発信 | (18)積極的な情報発信と情報収集 | 校報・学年通信の充実、ホームページによる情報発信、PTA諸会合、地域訪問、個人面談、民生委員と語る会、保護者アンケート | 3 | |
| 12 地域の教育力の活用 | (19)PTAとの連携強化 (20)コミュニティスクールの趣旨を生かした教育力の活用 | 学校行事・諸活動等へのPTAの参画及び協力(一人一役・挨拶運動) 地域学習の充実、保護者・外部講師による学習支援、学校運営協議会 | 4 | |

[12に関するデータ]

○行事や子どもたちの学校での活動の様子を分かりやすく伝えているか。(平均値 保護者4.02 教員4.10)



- 学校ホームページ
- 学校報毎月更新
- ブログの更新 随時
- 学年だより 毎週発行
- 学校報 毎月24日頃発行
- ※各町内へ回覧用に配付
- 一部の町内では全戸配付

○授業や行事の公開、面談等の機会の設定はよくなされているか。(平均値 教員3.95)

教員 大変良い(19%) 良い(57%) だいたい良い(24%)
やや不十分(0%) 不十分(0%)

- ・授業参観 4月15日、6月29日
- ・祖父母参観 6月29日
- ・個人面談 7月24日～27日・随時

6月授業参観



[13に関するデータ]

○学校行事や諸活動に保護者の協力を得るよう、十分な働きかけをしているか。(平均値 保護者3.96 教員3.95)

保護者 大変良い(24%) 良い(51%) だいたい良い(23%) やや不十分(1%) 不十分(0%)
教員 大変良い(19%) 良い(57%) だいたい良い(24%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○家庭や地域の教育力を、学校の教育活動に積極的に活用しているか。(平均値 保護者4.27 教員3.95)

〈学校支援活動事業〉

- ・学習指導への補助 … 読み聞かせ(毎週木曜日 ※読み聞かせボランティア)
- 校外学習の引率補助



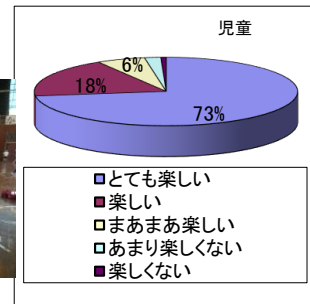
読み聞かせ活動



鳳凰山登山(保護者のボランティア)



ダンスクラブ～鳳鳴高校
チア部と一緒に



学校の外に出かけたり、地域の方と一緒に勉強や活動したりするのは楽しいですか(平均値 児童4.55)

- ・正課クラブ活動…英語、パソコン、お茶、ダンス、手話、バルンアート
- ・行事等への支援…あいさつ運動、交通安全指導
- ・PTA研修会…メディアについての講演会